

水産物来週の見通し (3/1~3/6)

【鮮魚の概要】

たち類、助宗子などの腹物は入荷減。ニシンは最盛期となる。一般鮮魚は入荷多め、価格は全体的に高めでしょう。

【主要品目】

鮮マグロ⇒本マグロは、長崎産、鹿児島産の国産養殖とメキシコ産の養殖が中心の入荷。価格は安定。

ホタテ ⇒標津産、野付産、噴火湾産が中心の入荷で、価格は安定。

ホッキ ⇒胆振産、道東産が中心の入荷。数量安定、価格安定。

ウニ ⇒道東産、ロシア産が中心の入荷。数量安定、価格安定。

貝ツブ ⇒真つぶは、様似産、広尾産が中心の入荷。数量不安定、価格不安定。

キンキ ⇒根室産、羅臼産、日高産が中心の入荷。数量不安定、価格不安定。

ヒラメ ⇒日本海産、噴火湾産、九州産、青森産が中心の入荷。入荷不安定、価格不安定。

真鱈 ⇒広尾産、日本海産が中心の入荷。数量安定、価格安定。

毛ガニ ⇒厚岸ほか太平洋からの入荷。数量不安定、価格高め。

カレイ ⇒日本海方面、道東方面が中心の入荷。数量不安定、価格は高め安定。

やりいか⇒青森産の入荷で、数量・価格ともに不安定。

ニシン ⇒石狩ほか日本海、道東方面から入荷。価格は安定。

アサリ ⇒厚岸、浜中方面からの入荷。数量安定も、価格は高め。

エビ ⇒噴火湾でボタンえび漁が始まり、価格次第だが入荷は増える見込み。
南蛮えびは、羽幌、増毛より入荷。価格は高め。